

### 報告書抄録

ふりがな	あざかわせんじょうちいせきぐん よしだまちひがしいせき								
書名	浅川扇状地遺跡群 吉田町東遺跡								
副書名	県単街路事業「北長野通り線」・県単道路改築事業「北長野（停）中俣線」地点								
シリーズ名	長野市の埋蔵文化財								
シリーズ番号	第112集								
編著者名	遠藤忠実子								
編集機関	長野市教育委員会文化財課埋蔵文化財センター								
所在地	〒381-2212 長野県長野市小島田町1414番地 TEL 026-284-0004・FAX 026-284-0106								
発行年月日	2006（平成18）年3月15日								
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
吉田町東 遺跡	長野県長野市 吉田3丁目937-1 他	20201	A-088	36° 40' 8"	138° 13' 16"	2002.9.5～ 2003.1.23 2003.7.30～ 2003.10.17 2003.12.8～ 2003.12.17 2004.7.27～ 2004.8.11	1,151㎡	道路 改良	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
吉田町東 遺跡	集落	縄文時代		縄文土器					
		弥生時代	(中期)	竪穴住居 3	弥生土器・土製円板 打製石鏃・磨製石鏃 扁平片刃石斧				
			(後期)	竪穴住居 3(1)	弥生土器				
		古墳時代	(後期)	竪穴住居 10	土師器・須恵器 砥石・石製紡錘車				
		奈良時代		竪穴住居 6	土師器・須恵器 鉄製紡錘車				
平安時代		竪穴住居 22	掘立柱建物 1 井戸・土坑 4	土師器・須恵器・灰釉 陶器・砥石・鉄鎌					
要約	浅川扇状地の扇端部に位置する弥生時代中期・後期、古墳時代後期、奈良・平安時代に渡る集落址である。本遺跡の位置する浅川扇状地は、浅川の影響を受けやすい場所であり、調査区内においても浅川の影響とみられるレキ層が何カ所においてみられた。遺構は住居址を主とし、各時代とも密に存在しており大規模な集落であったことが考えられる。弥生時代後期から古墳時代後期にかけて集落が一時断絶する時期がみられるものの、長期にわたり集落が続いたことがうかがわれる。								

長野市の埋蔵文化財第112集

浅川扇状地遺跡群

## 吉田町東遺跡(2)

平成18年3月10日 印刷

平成18年3月15日 発行

編集 長野市教育委員会  
発行 長野市埋蔵文化財センター  
印刷 ほおずき書齋株式会社